



森林ふれあい情報

国民の森林 国有林

平成18年1月
第3号

中部森林管理局木曽森林環境保全ふれあいセンター
〒399-6101 長野県木曽郡木曽町日義4905-2
TEL: 0264(23)1080 FAX: 0264(23)1081
E-mail: kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

「木曽川・森づくり in 赤沢」を開催

昨年9月3日、当センターでは、木曽川に関わる上下流住民が森林整備を通じて交流を図るイベントを、長野県上松町の赤沢自然休養林において開催しました。当日は長野県内及び下流域の愛知、岐阜両県から約80人が参加し、ヒノキ林の間伐作業や森林観察を体験しました。

冒頭、関中部森林管理局長から「水の交流」、「木の交流」、「人の交流」をキーワードに、木曽川の国有林を通じた上下流の交流を図り、国民参加の森づくりを進めていきたいとの挨拶があり、その後、参加者は40人ずつ2班に分かれ、A班は間伐作業、B班は自然観察会に向かいました。

ました。分かり易く、人を飽きさせない説明ぶりに、観察会に同行した職員の一人は、この日は一人の生徒として良い勉強になったと感想を語ってくれました。

昼食後は、A班とB班を入れ替えて午前中と同じプログラムに取り組んだ後、閉会式を行ってイベントを終了しました。参加者からは、「森の歴史・御神木伐採の話し等勉強になった」「山が好きなので自然の中で作業ができて嬉しい。来年も実施されるようなら是非参加したい」といった意見が寄せられました。今年も皆さんに大いに楽しんでもらえるようなイベントにしていきたいと思います。(担当: 勝野)



挨拶する関中部森林管理局長



間伐作業では、蜂よけの網をヘルメットにつけるのが初めてという人が多く、暑くて大変と言う声も聞かれましたが、作業に臨む姿勢は真剣そのものでした。参加者は2人1組になり、息を弾ませながら一生懸命に鋸をひきましたが、林齢の高いヒノキの人工林はさすがに手強かったようで、どうしてもかかり木が出てしまいました。この日の作業では、木がかかるたびに、当センターの職員らが木回しやチルホールを使って地面に倒して回るといった光景が会場のあちこちで見られました。

また、自然観察会では、森林鉄道からの景色を楽しんだ後、ラグビーやサッカーの夏合宿で有名な長野県菅平に事務所を置くNPO法人やまぼうし自然学校のインストラクターの案内で、赤沢自然休養林内の自然観察を行い



間伐作業に取り組む参加者ら